

Debate

Manual I

～理論編～

WJEMA
Debate Section 1999

§ 1. Debate とは

Debate とは 1 つの **Resolution** の下に、**Affirmative side** (肯定側) **Negative side** (否定側) に分かれ、それぞれの立場の優位性を客観的かつ論理的に第三者に (=Judge) 示す競技です。特に私たちが行っているのは、教育を目的とした **Academic Debate (Policy debate; 政策決定ディベート。政策決定シミュレーション)** です。

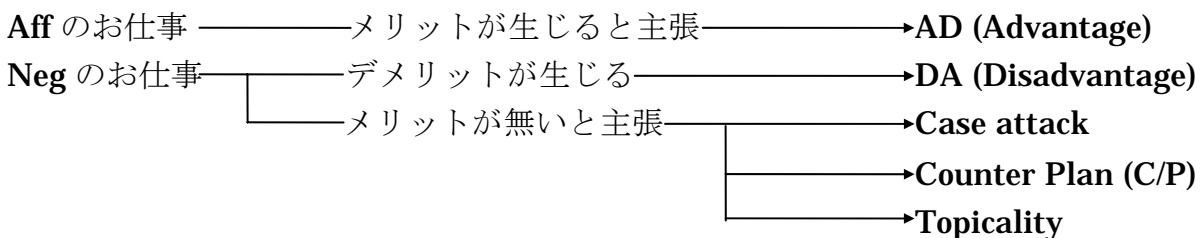
Proposition(プロポ) or Resolution : Debate のテーマ、命題

Aff = Affirmative side : プロポの採択を支持する肯定側 別名 **Case side**

Neg = Negative side : プロポの採択に反対する否定側

Plan : プロポを採択するための具体的な手段。 政府の政策。

(プロポを採択することにより)



☞ **Aff は変革を、Neg は現状維持を主張する!**

勝敗 : **ADs > DAs** → **Aff** の勝ち

ADs ≤ DAs → **Neg** の勝ち

(メリット 0 ならプロポを採択する意味が無い。要するに **Net benefit (純利益)** の大きいシステムを提示した立場の勝ち)

ADs, DAs = Risk(%) × Sig(or Imp) … 絶対的評価ではなく 確率的相対評価

e.g.)

Proposition Resolved: That Japan should abolish the death penalty.

Aff : 死刑を廃止しよう!

AD : 冤罪で死ぬ人がいない。死刑囚の命が助かる。

Plan : 無期懲役(15 年釈放無し)を死刑の代替刑とする。

Neg : 死刑を存置しておこう! (現状維持)

DA : 死刑の抑止力 (犯罪防止効果) が無くなって、犯罪が増える。

Case attack : 日本の死刑に冤罪はない。 → **AD gone**

§ 2. Basic Terminology

Round : Debate の試合のこと
Debater : Debate に参加する競技者
Judge : 競技の勝敗を決める人
Timekeeper : 時間を測る人
Chairperson : 試合進行をする人

Argument : 個々の議論のまとめり (=Claim + Reasoning)
Claim : 自分達の主張
Evidence : 証拠。主張を裏付ける証拠。特に **claim** の **reason** となるもの

Flow : 議論の流れ。

議論の流れを書いた紙を **Flow sheet** と言う→**Flow sheet** の書き方

S/Q= Status quo : 現状の世界 (システム)
A/P= After (the) plan : Plan 後の世界 (システム) 将来、近未来

(Aff は S/Q のデメリットの解消=AD を主張、
Neg は A/P の新たに生じるデメリット=DA を主張する！)

B/P= Burden of Proof : 立証責任。原則として先に言い出した方が B/P を負う

§ 3. Round 進行

- Constructive speech(コンスト) : 立論 ; 新しい議論を展開する
 - { AC= Affirmative constructive speech
 - { NC= Negative //
- Rebuttal speech(リバ) : 反駁 ; 立論で双方が出した議論をまとめる
 - { AR= Affirmative rebuttal speech
 - { NR= Negative //
- Preparation time(プレパ) : 準備、作戦時間
- QA or Cross-examination : 質疑応答 (Bind されない=Vote に原則影響しない)
QA の目的は①不明な点 (理解、聞き取り×) を尋ねる ②反論、反駁の土台を作る

1AC→1NC→2AC→2NC→1NR→1AR→2NR→2AR

↓
Negative Block

Negative Block : Neg.が 2NC,1NR と続けて喋る時間

練習問題Ⅰ ここで、以下のプロポの **AD**、**DA** を考えてみてください。

①タバコを全面禁止しよう

AD

- ・
- ・
- ・
- ・

DA

- ・
- ・
- ・
- ・

②100%がん告知しよう

AD

- ・
- ・
- ・
- ・

DA

- ・
- ・
- ・
- ・

③自動車を全廃しよう

AD

- ・
- ・
- ・
- ・

DA

- ・
- ・
- ・
- ・

練習問題Ⅱ 各システムが次のようになった場合、**Aff, Neg** どちらの勝ちでしょう？

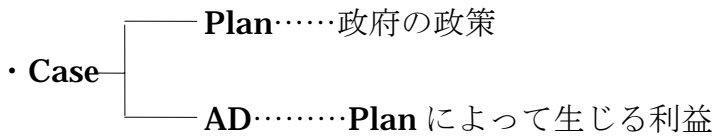
①**S/Q** 100 件の殺人事件 **A/P** 200 件の殺人事件

②**S/Q** 2 兆円の浪費 **A/P** 1 兆 5000 億円の特別支出

③**S/Q** 朝鮮戦争 **A/P** 朝鮮戦争

今まで **AD**=メリット、**DA**=デメリットとして話を進めてきました。大雑把に言えば、それでも構わないのですが、他人を納得させるためには更に詳しい **analysis** (=分析) が必要です。もっと細かい因果関係を明確にし、自分のお話を理論武装(=When, Who, Where, What, Why, How など具体的なストーリー説明) することが必要です。そこで次章より **AD**、**DA** について更に詳しく考えていきましょう。

§ 4-1. Advantage



⇒ AD を証明するためには？ ————— AD の 3 要素 (requirements)

- **Inherency (Inh)**……問題内因性
- **Significance (Sig)**……重要性(量と質)
- **Solvency (Sol)**……解決性

Inherency…S/Q で起こっていること。Plan 後に解決すべき問題。

e.g.) 死刑→Criminal の life deprive, たばこ→肺がん増加

Significance…プランによって生じる利益の重大性。量→助かる人の数, 質→権利など。

e.g.) 死刑廃止→死刑囚の life(量と質) 実際の数と死刑囚の life が大事か否か。

Solvency…A/P、問題が解決するかどうか。

e.g.) 死刑廃止→死刑執行官の苦痛が無くなる。

・その他

Observation (Obs) : 扱う問題についての予備知識・データなど、聞き手の理解を助けるために提示する **Evidence** のこと。

Under View (U/V) : 相手の反論を予想して、予め読んでおく **Evidence** のこと。

➤ Case attack の種類

No Inherency (N/Inh) —————→ 現状分析が違う

No Significant (N/Sig) —————→ S/Q の問題は大了たことない

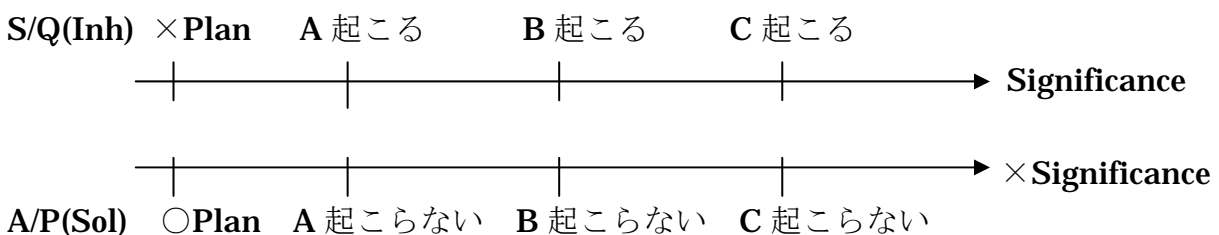
No Solvency (N/Sol) —————→ Plan 採っても解決しない

Turn Around (T/A) …後述 p8

PMA (Plan doesn't Meet Advantages)…後述 p9

3 要素に対する **Attack** は基本的にどれか一つでも完全に立てば AD=0

AD= Risk(話の確からしさ、%)×Sig



§ 4-2. Disadvantage

・ DA (ディスアド) ……Plan によって生じる不利益

☛ DA を証明するためには? ————— DA の 3 要素 (requirements)

- Uniqueness (Uni) ……固有性
- Linkage (Link) ……関連性
- Impact (Imp) ……重要性(量と質)

Uniqueness ……S/Q では起こらないという証明。Neg. の DA が **Plan unique** である証明。

- e.g.) 原発廃止 → 原発職員の解雇 (= 原発は × × 人の雇用を生む)
- 死刑廃止 → 犯罪 ↑ (= 死刑には抑止力がある)

Linkage ……Plan から Imp. までの話のつながり。

特に Plan から直接引き金になった最初の Link を **Initial Link** と言う。

- e.g.) 死刑廃止 → 抑止力 ↓ → 犯罪 ↑ → 一般大衆の **Life**

Impact ……Plan によって生じる不利益の重大性。

- e.g.) 死刑廃止 → 戦争

➤ **DA attack** の種類

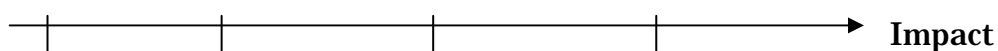
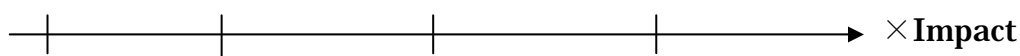
- Not Unique (N/U) —————→ ① DA 全潰し N/IL ② Link 切り
- No Impact (N/Imp) —————→ 起こっても重大ではない
- No Link (N/L) —————→ 話がつながってない
- No Threshold (N/th) —————→ 閾値を越えていな。
- Empirically Denied (E/D) —————→ 経験的に否定される
- Turn Around (T/A) ……後述 p8

3 要素に対する **Attack** は AD と同様。どれか一つでも立てば **DA=0**

Neg. は Aff. の逆。 (**Link slight, big Imp.**)

- ① AD を **Flip or T/A**。A/L(at least) 出来るだけ削る。
- ② Uni をしっかり説明、Imp. までの **Link** を最大限残して **DA** を立たせる。
(アヤシイ話をいかにリアルに伝えることが出来るか。)

S/Q(Uni) × Plan A 起こらない B 起こらない C 起こらない



A/P(Link) ○ Plan A 起こる B 起こる C 起こる

§ 5. System Map

1. System Map とは何か？～差異を表現する装置～

敢えて定義するなら、**S/Q**, **A/P** を因果関係で結ばれた一本の時間軸として、それぞれ一本の線で表現したもの、でしょうか。**Debate** では **S/Q** と **A/P** での違いの重要性 (= **AD** or **DA**) を **Judge** に示すことが必要ですが、この **System Map** を用いることにより、**S/Q** と **A/P** の差異を視覚的にとらえることができます。

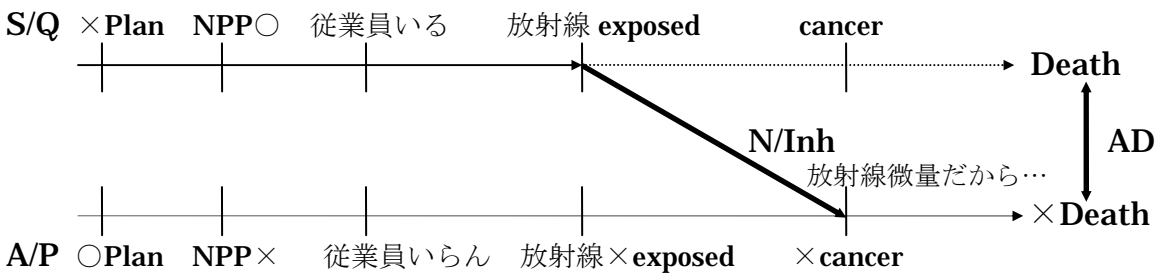
2. 書き方

- ①時間軸をとった前の点(**Data**)と次の点が適切な因果関係にある。
- ②**Aff system**, **Neg system** はそれぞれ一本の線にして、途中で分岐させない。
- ③**Aff system** の各点(**Data**)と **Neg system** の **Data** が対照関係にある。

3. 具体例

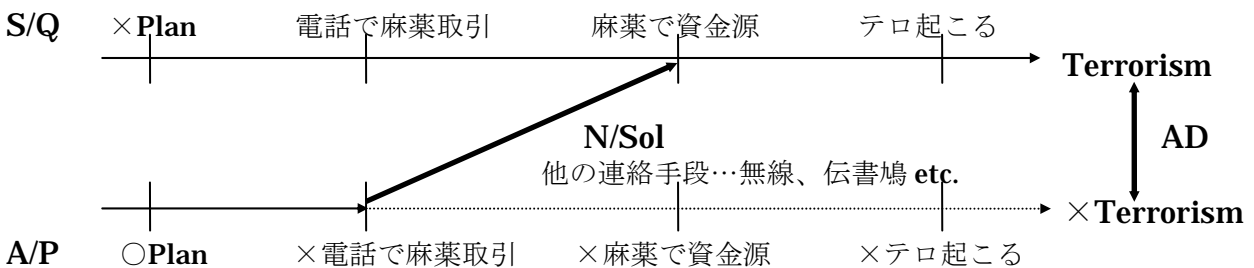
eg.1) 原発

Aff. 原発廃止→life save

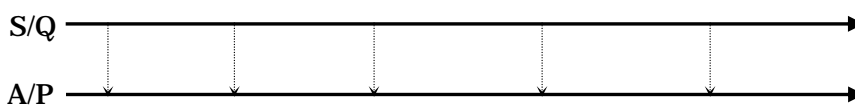


eg.2) 盗聴

Aff. 警察の盗聴 OK→テロ



※ 縦の糸、横の糸 (ミクロ&マクロ)



何故各点における **S/Q** と **A/P** の対比説明が重要なのか、この図を見て考えてみましょう。

練習問題Ⅲ 以下の AD、DA のシステムマップを書き、アタックを考えてみましょう。

AD Lung Cancer

※エビデンスの役割とは？

1.Inh

Smoking causes lung cancer.

2.Sig

a) 60,000 people die every year b/o lung cancer.

b) 80% of lung cancer is attributable to smoking.

3.Sol

Smoking cessation improves smokers' health.

_____→

_____→

DA Jobless

1.Uni

Tobacco business creates 1 million people's job.

2.Link

a) After the plan, JT will go bankrupt.

b) 1 million people will lose their job suddenly.

c) 1 million people will commit suicide b/o the jobless shock.

3.Imp

a) 1 million people's lives are deprived by their plan.

b) 1 million jobless itself are miserable.

_____→

_____→

§ 6. Turn Around (反転)

ここで人気急上昇中？のアタック、T/Aについて考えてみましょう。T/Aは極めて重要なアタックであり、最近のラウンドでT/Aなしで勝つのは不可能とまで言われています。Aff, Neg両サイドで使いますし、特によく覚えておいて下さい。

Definition : A response that makes an opponent's argument support your position.
(Synonyms : Flip, Turn)

まずT/Aの種類ですが、代表的なものに以下の3種類があります。

1.Link T/A

名前の通り。ストーリーを引っくり返すこと。話が逆。

e.g.) 死刑廃止→犯罪↑に対し、T/A 犯罪↓
たばこ廃止→心疾患↓に対し、T/A 心疾患↑

2.Impact T/A

相手が主張する**Sig.(Imp.)**がメリットではなく、むしろデメリット。要するに重大性に対し、相手と反対の価値観を提示する。

e.g.) Sig= “結婚できる” に対し、T/A “結婚なんてろくなことが無い”
Sig= “ガン直る” に対し、T/A “ガンは幸せ”

3.Generic T/A

T/Aと名前は付いていますが、これは実質AD,DAと同じものです。
(T/Aとケース、ディスアドの間に明確な境界はありません)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・T/A…アタックの数が少ないが、Flowが紛糾して分かりにくい・独立…アタックの数が多くなるが、ストーリーは分かりやすい |
|--|

どちらで出すかは戦術(=ストラテ)次第です。ただしGeneric T/AはAD,DAと同じなわけですから、1. 2. 3. という形式にしましょう。

e.g.)死刑廃止→死刑囚の命save に対し、被害者の家族の苦しみ。
たばこ廃止→ガン↓に対し、T/A ストレス→ガン↑

Aff sideでしか使いませんが、DA返しの1つとして重要なT/Aです。

4.Case solve T/A

Planをとることにより、Neg.の主張するDAが解決する→New AD (Additional) に

e.g.)リサイクル→jobless↑に対し、T/A リサイクル create another job.
たばこ廃止→JTの資産売却→不況改善

※ ただしPlanのTopicality, Feasibility, Workabilityを証明する必要があります。

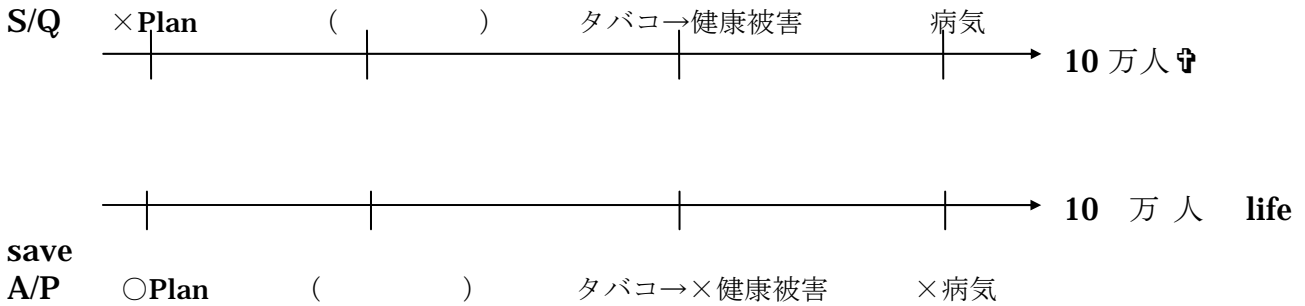
§ 7. PMA

Plan doesn't meet advantage の略。

要するに Plan を採っても AD が生じないというケースアタック、1 種の N/Sol です。何故 N/Sol と言わず、PMA と言うのか？その違いはシステムマップを書いてみれば分かるはず です。では具体例を挙げてみましょう。

PMA Black Market

プラン採ってもみんな闇市でタバコ手に入れて吸うから Situation 同じ。



1.形式 (=Format)

基本的に 1.2.3. で出します。

e.g.) Black market

1. A/P S 人 continue to smoke.

2. B/M will surely occur, b/c JPnese mafia has the route of smuggling.

3. M/O Tobacco B/M is E/P.

2.目的

①AD 全潰し (=Absolute PMA) ②Sol 削り

ただし PMA を完全に Stand させるためには、DA を stand させるのと同等的いしそれ以上の説明が必要になります。よって一般的には Sol attack の 1 つとして用いられる方が多いと思います。

3.出し方・出され方

PMA は AD all に付くような Absolute PMA は independent に出した方が分かりやすいです。しかし AD 1 のみとか、全部に付くがこのリンクに specific に付けたい…等、ポイントが明確な場合は必ずしもこの限りではありません。基本的に規模が大きければ Independent で、small or specific な argument ならケースアタックとして組み込むことが多いようです。

§ 8. 余談 何でディベートやってんの？

Mr. K '99/ J : 京医 6 回生 1998WJEMA 優勝ディベーター from Debate ML

Q) まあ、よく **debate** に例えて考えることは多いですねえ。たとえば、カルテの書き方と **debate**。これは、まさに **debate** なんですねえ。基本的には **SOAP** といって **Subjective, Objective, Assessment, Plan** の形式で必ず書くんですが、うまい人のカルテは、**Plan** からがしっかりしてる。その **Plan** ははたしてどう展開していくのか、それに対しての対策は、とかすべて書いてある。うまくない人は、**Plan #vomitting** プリンペラン（制吐薬）で **follow** などですぐ終わる。いやー、まさに **debate** ですねえ。

あとは回診での研修医の **presentation**。

これは **Judge** 兼 **Attacker** である教授との **Debate** なんですねえ。これがまた。めっちゃうまい人はリンクがしっかりしていて、どんな **attack** にもうまく返す。しかも早口。

あと、移植の田中先生のオペを隣で手洗いして入っていたときに、まさにこれが **2con2reb** だ。と思いました、、、ま、やめときます。

別に僕が **Speech** してたら **Speech** に例えるだけで、まあ、たまたま **debate** してるからで、、、気にしないでください。あ、けど、はやりの **Evidence Based Medicine**。すべてエビに基づいた医療をしようとするやつ。あれこそ **debate** の原点ですね。EBM ですもんねえ。…以下略(UQ

無断で拝借しました。すみません^^;

尚、このマテは関西 **NAFA** セミナーの内容を参考にさせて頂いております。最後になりましたが、その旨明記しておきます。

ボツ原稿

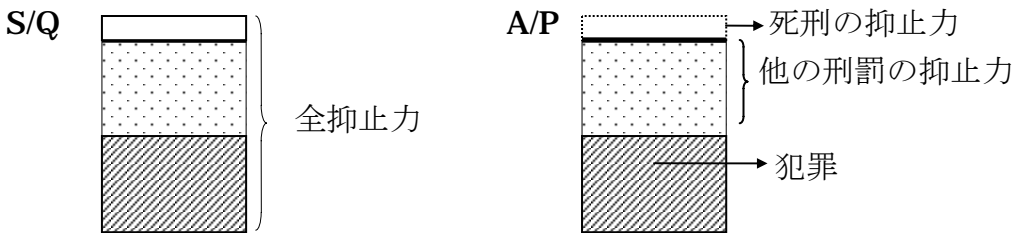
Threshold

N/th

e.g.) 死刑廃止→犯罪↑

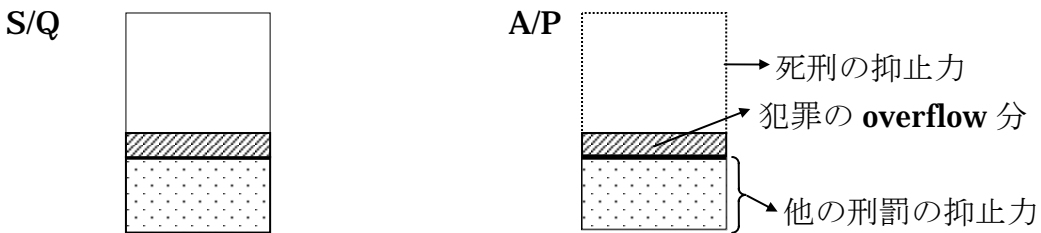
Aff は死刑がどのくらい抑止力に寄与しているか分からない(A/P にどのくらい犯罪が増えるか分からない)、と言う。(doubt をかける)

・ Aff の主張



S/Q と A/P でほとんど変化無し。Threshold を超えないため、増えてもその後の Link を引き起こすには十分でなく、ここで Link が切れる、と言う。通常、N/th と N/L は同時に attack することが多い。(N/th でダウト、N/L でカット。)

・ Neg. の主張



上記のように、Aff と Neg は提示するモデルが違う。

(但し、Threshold は出来る議論と出来ない議論あり。出来る議論…戦争、社会混乱、ストレスなど、程度の議論。やりにくい議論…相手が clear number を提示しているとき。)

